

令和3（2021）年度 放課後活動指導者研修 実施報告③

実施日：令和3（2021）年7月16日（金）

○ 講話・演習「もしもの時も落ち着いて～子どもを守る危機管理～（救急救命編）」

日本赤十字社栃木県支部 主任指導員 浅賀 昌代 氏
同 指導員 山村 直子 氏

今回は、子どもを守る危機管理について、救急救命や応急処置に関する講話と実技演習を行いました。

研修前半は、主に心臓マッサージの仕方と、AEDの使い方について学びました。動画を見たり説明を聞いたりしながら救急救命法の流れを確認し、続いて練習用の人形を使用した胸骨圧迫とAED操作を行いました。蒸し暑い体育館での研修でしたが、熱心に講師の説明を聞いて要点をメモしたり、胸骨を圧迫する際の姿勢や力の入れ具合に気をつけたりと、受講者の皆さんは「いざ」というときに備えて、熱心に実技演習を行いました。



研修後半は、三角巾を用いた応急処置の仕方を確認するとともに、熱中症の予防策や熱中症の症状が見られた際の対処法について学びました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、三角巾は受講者各自が持参し、患部を保護したり止血したりする練習を、自分の足を使って行いました。最後の質疑応答では、質問された事柄に対し、講師から丁寧な補足説明がありました。

受講者は研修全体を通じて、間近に迫った夏季休業中の子どもたちとの生活をイメージし、望ましい危機管理の在り方について認識を深めることができました。



★★★ 受講者の声 ★★★

- ・ AEDの操作法や三角巾の使い方など、具体的に教えていただきありがたかった。いざという時に活用できるようにしたい。
- ・ 傷口の消毒は水道水で洗い流す、という説明があり、いつもの対処法と同じだったので安心した。
- ・ 救急救命を行う際は、周囲の状況の確認がとても大事だと思った。
- ・ 久しぶりにAEDの操作をしたが、やはり定期的に学ぶことの必要性を感じた。
- ・ よく状況を見て、早く判断する力をつけたいと思った。的確な説明でとても分かりやすかった。
- ・ これから暑くなり、マスクをしながらの生活も続くので、熱中症対策をしっかり行いたい。
- ・ 心臓マッサージはとても力が必要で、手が痛くなった。救命は大変であることが分かった。
- ・ 参加者一人に一人の人形が割り当てられ、やりやすかった。もっとゆっくりと、細かく学びたい。
- ・ 熱中症になった場合は、体を濡れたタオルで拭く、体全体を濡らすことを新たに学んだ。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp